

## ニューノーマルに対応した最新のテレワークロードマップ

公務職場におけるテレワークを定着・加速させるべく、

「国家公務員テレワーク・ロードマップ(平成 27 年 1 月 各府省 CIO 連絡会議決定)」が 令和3年3月に改定され、「令和7年度までに、テレワークを活用することで、



## 「新しい日常」に対応し、いかなる環境下においても必要な公務サービスを提供できる体制を整備する」

ことを目標としました。

よって IT サービスの情報収集や機能検証などを加速させる必要があります。

テレワーク時におけるITを活 用した適正な勤怠管理

快適なウェブ会議の実現

柔軟なテレワークを 実現できる IT 環境の整備

業務の オンライン対応の実現

改定されたテレワークロードマップに令和7年までに対応するために 令和3年はシステムの企画やシステム化の計画策定を実施しているフェーズです。

【マイクロソフト推奨のフェーズ】



令和3年

令和4年

令和5年

令和6年

テレワーク ロードマップにおける 一定の期限

令和7年

基本方針の決定

テレワーク実現に向けた 勤務形態や公務改革の策定 詳細仕様・要件の検討 小規模検証

テレワークに関わる ツール・サービスの決定、 トライアルによる検証

調達準備

パートナー・ ベンダーの決定 設計構築

テレワーク実現のための 詳細設計と環境構築

STEP 1 運用

ファーストステップの 運用開始

テレワークによる新しい 働き方と公務サービスの提供

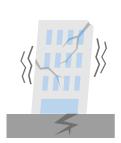
STEP 1 + 2 運用

## テレワークが求められる背景

なぜテレワークの推進が必要なのか?

感染症対策に加え、 災害時における行政機能の 維持に有効な手段





緊急時や毎年のように発生する 災害時にも業務を継続させ、 持続的な行政運営、ひいては社会全体の 安定性を保つことが必要とされています。

参考:新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針 令和 2 年 4 月7日改正 職員一人ひとりが 多様な働き方を実現できる 「働き方改革」の切り札



テレワークによって、時間・場所等に制限されず、 職員のエンゲージメントの 向上(自発的貢献意欲)を促したり、 新たな人材確保が必要とされています。

参考:働き方改革実行計画 平成29年3月28日

デジタル技術を 最大限活用した 公務の生産性向上

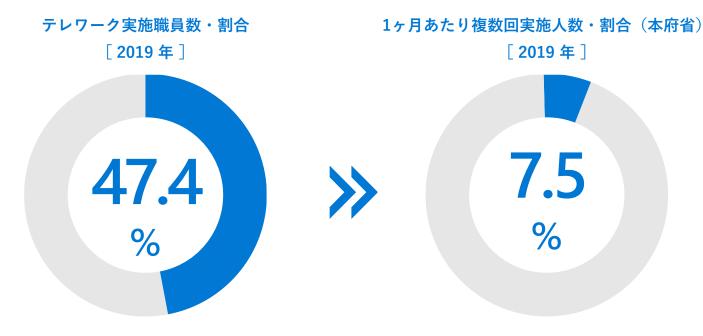


テレワークによって、公務の効率化・及び 生産性を高めると共に、 行政サービスの更なる向上に 繋げていくことが求められています。

参考:自治体デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画 令和 2 年 12 月 25 日

## テレワークの現状と定着に向けた課題

ほとんどの府省庁(地方支分部局含む)でテレワーク実施規定を整備し、本府省では多くが時間単位での実施が可能になりました。 令和元年度のテレワーク実施職員の割合は、47.4%(本府省職員)に昇るなど、公共におけるテレワークは加速しております。 しかし、テレワークの実施延べ人数は増えていますが、この表から一か月当たりで複数回テレワークを実施した人数は 4,138 人であり、実施割合は 7.5% 月1回の職員が 90% 以上であり、まだまだ一部のユーザーだけが活用している状態で、組織としてテレワークが定着しているとは、言えない状況です。



<出典>内閣官房IT総合戦略室「2019年度(令和元年度)国家公務員テレワーク取組状況等調査の結果 より作成

多くの職員にテレワークが定着しないと、必要な行政機能を維持することが困難であることも示唆されています。 そのため「職員の業務分担適正化」を図り、より多くの人が快適にテレワークができるように行政文書における紙業務の常態化や、 リモートアクセス環境などのシステム面の問題(同時アクセス数の制限、端末数の制限という課題)、 会議実施方法等の業務改革に係る多くの課題を解決することが重要です。

## テレワーク定着に向けた具体的な課題

テレワーク定着に向けて、具体的に以下のような課題が指摘されております。

### 同時アクセス数の 制限、端末数の制限

VPN による省内ネットワークへの同時接続数が制限されているため、職員がアクセス出来ないことがあります。また、組織が管理するデバイスのみでしかアクセス出来ないため、テレワークの生産性を低下させます。



## 電話通話料等の個人負担、プライバシー保護・セキュリティの懸念

テレワーク中に職員の私物の携帯電話端末等が使用され、 通話料を個人負担しているケースや、プライバシー保護や セキュリティーの懸念、出勤している職員への業務集中に よる負荷が指摘されています。



## コミュニケーションの取り方、職員のメンタルヘルスの確保

在宅勤務の場合、ストレスを感じる職員が多く、業務上の 不安や孤独を感じること等により、心身の健康に影響を与 えます。



## 勤怠管理、 職員の業務分担適正化

テレワークは過度な長時間労働になる傾向があります。また、勤怠管理・労務管理自体が、管理部門の負担増となる 可能性があります。



### ウェブ会議の実施環境、 共同作業機能の不足

テレワークでは文書の修正を別の職員へメールや電話で依頼することとなったり、即時性の高い複数人での打合せが困難となるなど、生産性を低下させます。



### 行政文書における 紙業務の常態化

行政文書の作成、保管におけるペーパーレス化が十分にできていないため、手作業での作業が多く、生産性が非常に低くなります。



## 同時アクセス数の制限、端末数の制限

VPN による省内ネットワークへの同時接続数が制限されているため、職員がアクセス出来ないことがあります。 また、組織が管理するデバイスのみでしかアクセス出来ないため、 テレワークの生産性を低下、非常時に迅速に対応出来ないなど、職員の不満の原因となっています。

### これまで

### 「境界型セキュリティ〕

VPN を使用する必要があり、限られた端末で組織サーバー上にある 仮想デスクトップでの作業が求められ、生産性の低下につながります。

のffice クラウドストレージ Web アクセス

ファイル サーバー 管理基盤 Web Proxy VPN

Web システム マルウェア 対策基盤

画面転送

最適な端末利用による テレワーク実現のため、 安全なクラウド環境の 整備が求められます。

# [ゼロトラスト セキュリティ] 限られた利用環境を用意しなくても 安心・安全なクラウドの提供

今後





## 電話通話料等の個人負担、プライバシー保護・セキュリティの懸念

テレワーク中に職員の私物の携帯電話端末等が使用され、通話料を個人負担しているケース多く指摘されております。 また、テレワークでの業務が困難なことから、職場に出勤している職員への業務集中などが指摘されております。 私物端末の電話番号を外部に伝えているケースもあり、プライバ シー保護やセキュリティーの観点からの懸念があります。



## コミュニケーションの取り方、職員のメンタルヘルスの確保

在宅勤務の場合、日常生活を行う場で仕事を行うこととなるため、ストレスを感じる職員が多いです。 また、対面の場合と比較してコミュニケーションが取りづらい場合があるため、 業務上の不安や孤独を感じること等により、心身の健康に影響を与えます。

### これまで

今後

職員同士がどこにいても円滑にコミュニケーションを図り、

業務の生産性や職員のウェルビーングを向上出来る環境づくり

物理的な距離が職員同士の会話の減少につながったり、 こまめな相談や確認が疎かになることで情報伝達や共有が図れず、 業務への支障が生じたり、職員の精神的負担につながる。

 $\otimes$ 相談や 確認 伝達·共有 カジュアルな ハラスメントの 会話 透明性/可視化

職員の孤立感を緩和し、 円滑で良好な コミュニケーションを 図ることが求められ ています。



## 実現するための

アプリ・サービス

#### Microsoft 365 コミュニケーション コンプライアンス

組織内外のコミュニケーションに関するコンプライアンス リスクの軽減に役立つソリュー ション。組織外と機密情報の共有、ハラスメントや不快な言葉の使用など、リスクのある コミュニケーションを検出、対処を支援。



#### Viva コネクション

学習、リソース、インサイトを集約した従業員エクスペリエンスプラットフォーム。



#### Viva インサイト

Microsoft 365 での電子メールや会議、サービスなどのデータを分析して、職場環境や仕事状況を 把握するための情報を提供、ウェルビーイングのバランスを取るための改善案を提案。



#### Power BI

Viva インサイトの分析情報とその他システムのデータを結合し、働き方評価ダッシュボードを作 成。インサイトに基づき立案した改善施策の効果測定など、組織独自の分析・行動指標(KPI)の 管理などが可能。

## 勤怠管理、職員の業務分担適正化

テレワークにて集中して作業に従事した結果、過度な長時間勤務になる傾向があります。 また、テレワーク時における勤怠管理・労務管理自体が、管理部門の業務増・負担増となる可能性があります。 さらに現在のテレワークでは出勤している人に業務の負荷が偏りやすく、マネジメント上の課題が明らかになっています。

### これまで

今後

職場では当たり前に可視化出来ていた職員の勤務状態が 解らなくなり、職員の長時間勤務の増加や勤怠管理・労務管理の難しさ、 出勤している職員の業務集中などが指摘されている。 物理的に離れた環境でも職員の勤怠・労務環境を 把握することが出来る環境づくり



テレワークの 勤怠管理の難しさ



出勤している職員へ 業務が集中してしまう

職員の勤務時間、 働き方を可視化し、 合理的根拠 (エビデンス)に 基づく検討と改善が 求められます。



## **₹**

#### Viva インサイト (旧 Workplace Analytics)

組織の生産性とウェルビーイング向上のために、データに基づいた働き方の分析と改善を支援するツール 組織全体や部局単位などで職員の働き方の習慣を分析、 課題を把握、それらを改善する方法を特定。



#### Viva インサイト 個人用分析

メールやチャット、会議などの Microsoft 365 サービスの データとシグナルを活用し、個人の働き方を分析。 個人の生産性とウェルビーイング向上のためのワークイン サイト (働き方を改善するポイント) を提供。



#### Power BI

Viva インサイトの分析情報とその他システムのデータを結合し、働き方評価ダッシュボードを作成。インサイトに基づき立案した改善施策の効果測定など、組織独自の分析・行動指標(KPI)の管理などが可能。

## ウェブ会議の実施環境、共同作業機能の不足

職場と同等の勤務をテレワークで実施しようとする際、使用端末に文書編集機能が搭載されていない場合、 文書の修正を職場で執務中の職員へメールや電話で依頼することとなります。また、ウェブ会議機能やチャット機能がない場合には、 即時性の高い複数人での打合せが困難となるなど、生産性を低下させます。

### これまで

チームで効率的な作業が出来ない。

情報共有が不十分になったり、近くの席や職場の 会議室に集まって同じ資料を分担しながら作成していたときのように、



今後

職場内への資料共有やファイルの共同編集など、 チームで取り組む業務の生産性を向上出来る環境づくり

ハイブリッドワークに 対応した コミュニケーション、 コラボレーション ツールが 求められます。



実現するための

アプリ・サービス



#### Microsoft Teams

会議、チャット、電話、共同作業 すべてが 1 か所にまとまった安全なハイブリッドワーク 共有、共同編集をどこからでも、Microsoft Teams で実施可能。



#### Office for the web (IE Office online)

Web ブラウザーで Word、Excel、OneNote、PowerPoint ドキュメントを作成、閲覧、編 集が可能。ほとんどのデバイスから、どこからでもファイルを簡単に作業して共有でき、 リアルタイムに共同作業を行うことが可能



#### Microsoft Teams Rooms ライセンス

Microsoft Teams 専用の会議室据え置き型端末用のデバイスライセンス Teams 会議機能、電話システム、電話会議、デバイス管理機能などを提供。



#### **SharePoint Online** • OneDrive for Business

Microsoft 365 のクラウド ストレージ サービス。離れた場所にいる職員とも安全にファイルの 保存、共有、共同編集を実現。Microsoft Teams との統合により、Web 会議やチャット中に シームレスにファイルの共有、共同作業を開始可能。

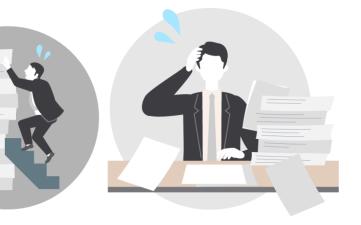
## 行政文書における紙業務の常態化

行政文書のペーパーレス化が十分にできていないため、手作業が多く、生産性が非常に低くなります。 また、FAX や伝票などの紙書類の確認や押印という

旧態依然の業務プロセスのために出勤を余儀なくされ、テレワークの定着を妨げます。

### これまで

紙媒体の文書の管理では大量に保管された紙の資料や、 保管から年数が経ってしまった 文書を探すのは大変で、 共有・再利用・検索が困難であるため、生産性の低下につながる。



今後

電子的に管理することで、テレワーク環境からも業務の効率化を図り、 所在の把握や管理状況のチェックが容易になるとともに、 履歴の管理や機密保持、改ざん防止の処理を施すことによって、

より確実な保存を実現

快適なテレワークを 実施するために、 文書を大量保存できる クラウドストレージ、 ワークフローの自動化 が求められます。





実現するための

アプリ・サービス

#### **SharePoint Online**

安全なファイル共有、共同編集を実現する Microsoft 365 のクラウド ストレージ サービス。Power Automate 連携によるライフサイクル管理の自動化や Microsoft 365 組み込みのセキュリティ機能により安全な文書管理が可能。



#### l eams

チームワークを実現する安全なコラボレーションプラットフォーム。



#### **Power Apps**

だれでもローコードのアプリをすばやく構築して共有、 手続きなどを電子化し、組織全体の俊敏性を向上。



#### **Power Automate**

反復作業とペーパーレス プロセスを合理化。



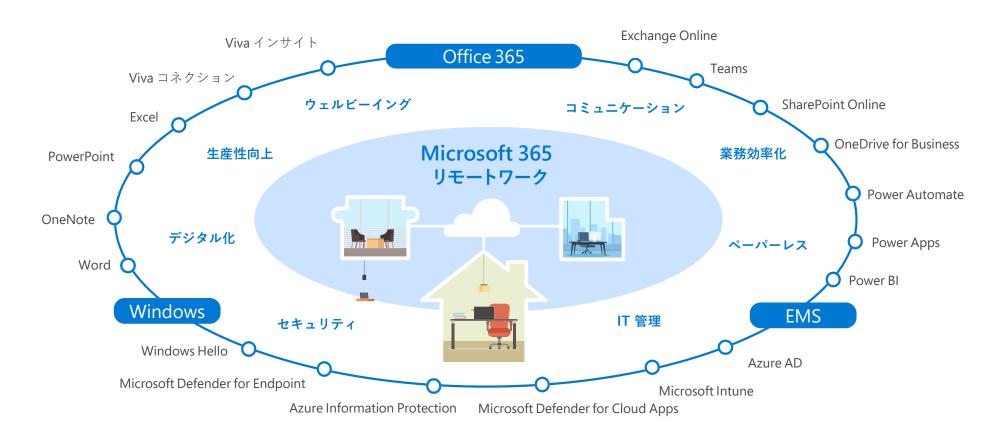
#### **Azure Information Protection**

いつでもどこでも、お客様の機密情報をより厳重に保護 組織内外で共有するメール、文書、機密データを制御し、保護をサポート。

## テレワーク定着に向けたファーストステップ

### テレワークの成功を支える Microsoft 365

テレワークに対応した課題 (制度面、システム面、環境面、業務改革面)の解決に Microsoft 365 のサービスを利用することで、 日常からテレワークが出来る環境を整備し、大きな災害や緊急時にも必要な公務のサービスを提供することが出来ます。 テレワークを定着する上での必要な強固なセキュリティと IT 管理を備え、在宅と出勤を職員が選択出来るハイブリッドな環境を支えます。



## テレワークロードマップに対応した今後のステップ

テレワークに係るハード環境整備(LAN 更改も見据えて)

「対応するマイクロソフト ソリューション]

**Enterprise Mobility + Security / Microsoft Defender for Endpoint** 

2021 年 2022 年 2023 年 2023 年 2024 年 2025 年

モデルネットワーク環境の整備検証、令和 4 年度以降の各府省ネットワーク環境の更改等を契機に統合を原則として検討・対応

#### STEP 1

#### 詳しく知る

- e-book
- Microsoft 365 で実現する安心・安全なリモート ワークへの移行
- オンライン セミナー
- 今こそ Microsoft 365 でゼロトラスト ネットワーク
- デバイスの簡単な導入と安全の確保

#### STEP 2

#### 計画を立てる

- Microsoft Cloud Accelerator ワークショップ
- Transition to Cloud Workshop
- Securing Identities Workshop

#### STEP 3

#### 試してみる

● Microsoft 365 トライアル弊社営業担当までお問い合わせください。

#### STEP 4

#### 改善する

● モニタリングと改善 弊社営業担当までお問い合わせください。

### 職員の自己負担なしの通話の仕組みの導入

[対応するマイクロソフト ソリューション] **Teams 電話システム** 

2021 年 2022 年 2023 年 2023 年 2024 年 2025 年

課題の検証、ニーズ把握等に基づき検討→可能なものから実施

実施状況モニタリング等の状況により必要に応じ見直し・改善

#### STEP 1

#### 詳しく知る

- リモートワークの課題解決に役立 つリソース集
- 情報通信の環境づくり
- e-book:<u>Teams 電話があれば固定</u> 電話機はもういらない!
- オンラインセミナー
- 電話環境やデバイスを整えよう

#### STEP 2

#### 計画を立てる

- Microsoft Cloud Accelerator ワークショップ
- Modernize Communications Workshop

Teams 電話機能のデモ、電話機能を拡張する3rdパーティアプリおよびデバイスを紹介し、Teams 電話システムを導入するための実行可能なプランを策定

#### STEP 3

#### 試してみる

- 導入評価検証
- 詳しくは弊社営業担当までお問い合わせください。

#### STEP 4

#### 活用状況を可視化、分析

- Microsoft 365 の可視化ソリューション
- Power BI による Teams の利用状況を分析
- Power BI による Office 365 利用状況(サンプル)
- Microsoft Teams の分析とレポート
   詳しくは弊社営業担当までお問い合わせください。

## テレワークロードマップに対応した今後のステップ

### テレワーク実施職員のメンタルヘルスの確保

[対応するマイクロソフト ソリューション] Viva インサイト / Power BI / コミュニケーション コンプライアンス

2021 年 2022 年 2023 年 2023 年 2024 年 2024 年 2025 年

#### 実情の調査・把握→実情を踏まえメンタルヘルスのための方策を検討しマネジメントを推進

#### STEP 1

#### 詳しく知る

- オンラインセミナー
- <u>Microsoft Viva:新しいデジタル従業員エクスペリエンスの最新の</u>イノベーションとロードマップ (英語)
- Microsoft Viva インサイトでハイブリッド ワークの文化における ウェルビーイングと生産性の向上を実現するには(英語)

#### STEP 2

#### 計画を立てる

- 現状把握と課題の整理(アセスメント)弊社営業担当までお気軽にお問い合わせください
- Microsoft Cloud Accelerator ワークショップ
- Microsoft Viva Workshop
- Discover Sensitive Data Workshop

#### STEP 3

#### 試してみる

■ 導入評価検証 弊社営業担当までお問い合わせください。

### テレワーク中の職員と出勤した職員の業務の適正化

[対応するマイクロソフトソリューション] Viva インサイト/ Power BI

#### 実情の調査・把握→実情を踏まえ適正化のための方策を検討しマネジメントを推進

#### STEP 1

#### 詳しく知る

- リモートワークの課題解決に役立つリソース集
- リモート環境のセキュリティ & ガバナンス
- オンラインセミナー、トレーニング
- リモートワーク勤務実態をテクノロジーで可視化
- リモートワーク中でも社員の働き方を可視化!
- Microsoft Viva インサイトの使用を開始する

#### STEP 2

#### 計画を立てる

- 現状把握と課題の整理(アセスメント)弊社営業担当までお問い合わせください。
- Microsoft Cloud Accelerator ワークショップ
- Microsoft Viva Workshop

Microsoft Viva の活用方法をデモ、従業員の知識活用やコンテンツの有効活用に関する推奨事項を提供し PoC や 導入計画を策定します。

#### STEP 3

#### 試してみる

● 導入評価検証 弊社営業担当までお問い合わせください。

## テレワークロードマップに対応した今後のステップ

### 文書編集機能、ウェブ会議・チャット機能等の充実

「対応するマイクロソフト ソリューション]

Microsoft Teams / Microsoft 365 Apps for Enterprise / Microsoft Teams Rooms Standard / Power BI

課題の検証、ニーズ把握等に基づき検討→可能なものから実施

#### 実施状況モニタリング等の状況により必要に応じ見直し・改善

#### STEP 1

#### 詳しく知る

- リモートワークの課題解決に役立つリ ソース集:チャット、Web 会議
- e-book
- その仕事のお悩み Teams で解決!
- Teams を活用したハイブリッド ワーク
- オンラインセミナー
- Microsoft 365 オンラインセミナー

#### STEP 2

#### 計画を立てる

- Microsoft Cloud Accelerator ワークショップ
- Hybrid Meetings Workshop

#### STEP 3

#### 試してみる

● Microsoft 365 トライアル 弊社営業担当までお問い合わせくだ

#### STEP 4

#### 活用状況を可視化、分析

- Microsoft 365 の可視化ソリューション
- Power BI による Teams の利用状況を分析
- <u>Power BI による Office 365 利用状況(サンプル)</u>
- Microsoft Teams の分析とレポート
   詳しくは弊社営業担当までお問い合わせください。

### 行政文書の電子化

[対応するマイクロソフト ソリューション]

SharePoint Online / Power Automate / Power Apps / Microsoft Teams / Azure Information Protection

2021 年 2022 年 2023 年 2023 年 2024 年 2024 年 2025 年

#### 「行政文書の電子的管理についての基本的な方針」等に基づき適切に実施

#### STEP 1

#### 詳しく知る

- リモートワークの課題解決に役立つリソース集:<u>ペーパーレス</u>
- e-book:ペーパーレスでリモートワーク定着へ
- オンラインセミナー
- ペーパーレスで意思決定を迅速に
- アプリとワークフロー活用によるペーパーレス化
- App in a Day: Power Apps、Power Automate、Dataverse の利用 方法を1日で習得

#### STEP 2

#### 計画を立てる

- Microsoft Cloud Accelerator ワークショップ
- Teams Apps and Solutions Workshop

Teams Platform の活用方法をデモ、お客様独自のビジネス シナリオを 特定し、お客様要件に合わせたソリューションをデザインします。

#### STEP 3

#### 試してみる

Microsoft 365 トライアル弊社営業担当までお問い合わせください。

## テレワークのセキュリティを支える Microsoft 365 Enterprise

Microsoft 365 E5			追加購入可能製品
Office 365 E5	Enterprise Mobility + Security E5	Windows 11 E5	CHARFY CORESCEN
Teams 電話システム	Microsoft Defender for Identity	Microsoft Defender for Endpoint	10-year Audit Log Retention
電話会議ライセンス	Microsoft Defender for Cloud Apps		
Power BI Pro	Microsoft Defender for Cloud Apps Discovery		
Microsoft Defender for Office 365	Azure Active Directory Premium Plan 2		
Office 365 Cloud App Security	Azure Information Protection Plan 2		
DLP for Teams			
Microsoft 365 Advanced eDiscovery			
Microsoft 365 高度な監査			
コミュニケーション コンプライアンス			
インフォメーションバリア			
カスタマーロックボックス			
Application Guard for Office 365			
Microsoft 365 E3			追加購入可能製品
Office 365 E3	Enterprise Mobility + Security E3	Windows 11 E3	足州勝入り形衣印
Microsoft 365 Apps for Enterprise	Microsoft Intune	Microsoft Defender Antimalware	Viva インサイト
Exchange Online	Microsoft Defender for Cloud Apps Discovery	Microsoft Defender Firewall	Viva トピック
Microsoft Teams	Azure Active Directory Premium Plan 1	Windows Defender Exploit Guard	Viva ラーニング
SharePoint Online	Microsoft Advanced Threat Analytics	Windows Defender Credential Guard	Viva suite
OneDrive for Business	Azure Information Protection Plan 1	BitLocker and BitLocker To Go	Microsoft Teams Rooms Standard
Microsoft Viva コネクション		Windows Information Protection	
Viva インサイト – 個人用分析			
Power Apps for Microsoft 365			
Power Automate for Microsoft 365			

Microsoft 365 Enterprise プランに含まれるオンライン サービスの詳細については、プラン比較をご覧ください。



詳細はこちらから

## https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/remotework

© 2023 Microsoft Corporation. All rights reserved.

※ 記載されている会社名および製品名は商標または各社の登録商標または商標です。※ 製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。※使用している画像はイメージです。※ 記載の内容は、2021 年 11 月現在のものです。

日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2 - 16 - 3 品川グランドセントラルタワー